



窓から差し込む光が、少し暖かく感じるようになってきました。保育室からは、♪もうすぐ、もうすぐ〇ぐみ～、いちねんせい～♪と、元気な歌声が聞こえています。

先日のお誕生会で、きい組さんになると、鍵盤ハーモニカやワークブックが始まること、しろ組さんになると剣道が始まることなどを職員が熱演し、帽子の色が変わってひとつ大きくなっていくことをみんなわくわくした表情で見せていました。お誕生会の最後には、生活発表会の時にしろ組さんの「ビリーブ」の歌に感動したきい組さんたちが、卒園していくしろ組さんにプレゼントしたいと密かに練習していた鍵盤ハーモニカの演奏と歌をサプライズで披露してくれました。きい組さんが心を打たれた経験は、かっこいいしろ組さんへの憧れとなり、自分たちが年長さんになったときにまた、優しさや感動をくれるのではないかと思います。

そして、もうすぐ一年生のしろ組さん。お茶会の際は、厳肅な雰囲気の中で背中をピンと伸ばしてお話を聞き、甘いお菓子を食べた後、ちょっと苦いお抹茶をぐいっと飲み干していました。お菓子の味や、お抹茶を一口飲んで苦手そうだな…と思われる様子の子どももいましたが、誰に聞くでもなく、残ったお菓子を懐紙に包んで制服のポケットに収める姿などを見ると、自分で状況判断する力がついているなど思ったのと同時に、立つとき座るときの足の運びや、お辞儀の所作もきれいで、一年間頑張った剣道を通して培われたことも、身につけて嬉しいひと時となりました。

子どもたちは、たくさんの友だちと一緒に、泣いたり笑ったりの毎日の時間の中で、さまざまなことを経験してきたのです。ちょっと身長が伸びて、逞しくなっている子どもたちを見ながら、区切りの3月だなどしみじみ思っています。

写真コンクールで
奨励賞を頂きました!!



タイトル

「逆さまの世界は何か不思議でおもしろい」

子どもたちを通じて私たちは繋がっています。子どもが笑うと大人は幸せな気持ちになります。でも子育ては、そんなハッピーな時ばかりではありません。仕事で疲れて帰っても、食事の支度やいっぱいの洗濯物。仕事が休めないというときに子どもの体調が悪くなる。急いで仕事にいかなくてはならないようなときに限って子どもが泣いてぐずってしまう…。子どもに怒ってしまった日には、寝顔を見ながらごめんねと呟いた日もあったでしょう。でも、どんな時も踏ん張ってきた保護者の皆さん、お疲れ様です。子どもはのびのびと育ってくれています。何にも代えられない宝物がいてくれるからパワーに変えて頑張れますね。

みみようの子どもたちは、人が好き、笑顔がいっぱい、そして興味のあることに主体的に関わっていく逞しい力が育っていると思います。その根っことなるのは、乳幼児期に育まれる大人との愛着関係にあります。生まれてきてくれてありがとう、あなたのことが大好きという無条件の愛は、ありのままの自分に価値があるという自己肯定感を育みます。その自己肯定感を土台とした安心感は、人を信頼し、さまざまなことに挑戦し、自立することに繋がっていきます。

こども家庭庁は、生涯にわたってみんなが幸せな社会(ウェルビーイング)を築くことを目指しています。子どもたちも保護者の皆さんも、地域の方も私たち職員も、みんなが幸せな笑顔でいられるように、大人数の大家族が繋がりがながら、次年度も愛がたっぷりの優しくあったかい場所を大切にしていけたらいいなと思っています。

保護者アンケートにはたくさんの方にご協力を頂きありがとうございました。その中に、「日頃の園での様子がよくわからない」という意見が複数ありました。令和7年度は、平日の参観日も取り入れながら、お子さんの様子を見ていただく機会やきつずノートでの配信も増やし、園からのお知らせでホッと、みなさんのパワーになるようなものになるといいなと計画しています。

残り一か月となりましたが、保護者の皆様にはこの一年、さまざまな場面でお協力いただきましたことに感謝申し上げます。

園長



ハッピー☆
～最終号～

大きな園の中で子どもたちが積み重ねてきた一年間。
本当にたくさんの成長を見せてくれました。
みんなで共に育った日々は、大きな家族と過ごしたよう
な大切な日々です。



たくさんの人との
つながり

人の数だけ
あふれる興味・意欲



大きな園は、大きな家族！



うれしい・たのしい
ハッピー☆

みんなの中で
自分らしく育つ

遊びながら
学び合う



あんなにドキドキして始まった4月から、もうすぐ一年が経とうとしています。一年をふり返ると、いろいろな日があって、泣いた日も、笑った日も、どんな日も愛おしいですね。

この大きな園の中で、子どもたちが思いきり発揮してくれた個性や、あふれだす意欲の一つひとつが、つながってつながってつながって…子どもたちは育っています。

第二みみょうこども園は、これからもみんなで一緒に育っていくあたたかい家族のように、自分らしく色とりどりの花を咲かせていく子どもたちにいっぱい愛情を注いでいきます。

主任